

令和8年7月15日
伊集院高等学校

令和8年度 第1回学校関係者評価委員会 報告

1 日 時 令和8年7月8日(水) 14:35~15:55(80分)

2 場 所 本校会議室

3 日 程 委嘱状交付

- (1) 開会のことば(教頭)
- (2) 開会のあいさつ(校長)
- (3) 出席者紹介(教頭)
- (4) 学校関係者評価委員会について(教頭)
- (5) 本校の概要説明
 - ア 学校経営の基本方針(校長)
 - イ 各部から(教務・生徒育成・キャリア育成・保健部の各主任)
 - ウ 各学年から(各学年主任)
- (6) 質疑応答及び委員からの提言等
- (7) 閉会のことば(教頭)

4 出席者

外部評価委員 4名、本校評価委員 10名 計 14名

5 質疑応答及び委員からの提言等

(委員B)

習熟度別学級編成の上位クラスを現1年生は1クラスとしているが、文系・理系に分かれた際、どのように対応するのか。

(教務部主任)

2年次で文系・理系に分かれるので、文系・理系それぞれに上位クラスを作るのか、あるいは文理融合の上位クラスを1クラス作るのかなど、今後1学年を中心に検討していくことになる。

(委員B)

徳重塾の講師は、できるだけ在校生に年齢が近い若い方で、時代に合った職種に就いている方(卒業生)を選んだほうがよいのではないかと。

(キャリア育成部主任)

徳重塾は、県の支援を受けて実施している。地域人材の活用を図りつつ、ご指摘のとおり実社会で活躍している若い方の選定を前向きに検討してまいりたい。

(1学年主任)

今年度の徳重塾(11月12日)に向けて現在準備を進めているが、講師として、地域おこしに尽力されている方、お天気キャスター、日置市消防局、その他地元企業の経営者の方などに声をかけているところ。

(委員B)

清掃活動の目的に「落ち着いた学習環境をつくる」とあるが、「自分の精神を統一する」という考えも必要ではないか。

(保健部主任)

清掃の前に心を整えることを指導している。今後もそういった精神で、清掃に取り組ませたい。

(委員B)

生徒の中には、3年生になるまで大学の受験科目等を知らない者もいるのではないか。大学入試の情報は、できるだけ早い時期に教えてあげてほしい。

(委員A)

タブレットの活用状況、SNSに関するトラブル、携帯電話の使用に関する家庭との連携について教えてほしい。

(キャリア育成部主任)

デジタルコンテンツについて、昨年度までは「スタディサプリ」を使っていたが、今年度から「グロースナビ」に変更した。生徒の取り組んだ活動（講演会の感想、探究活動、部活動の結果等）をすべて入力でき、その内容から今後AIを使って志望理由書を作成することもできる。朝の3K Time で読むコラムも配信しており、以前よりタブレットの使用頻度は上がっている。

(生徒育成部主任)

SNSに関するトラブルについては、年度初めに情報モラル教室を実施し、注意喚起を行っている。また、事あるごとにスマホの使い方等について指導もしており、大きなトラブルはない。携帯電話の使用については、家庭でフィルタリングの設定をお願いしている。

(委員A)

中学校で進路希望調査を行ったが、昨年に引き続き私立高校希望者が多くなっている。地元の公立高校をあまり希望しないという声も聞かすが、なぜなのか。

(委員C)

電車に乗って鹿児島市内の高校に行きたいという伊集院町の子供が一定数いる。今までは、私立高校に行けばお金がかかると思っていたが、授業料無償化で保護者の意識も変わってきている。現在演劇部の指導に関わっているが、今年の1年生には特定の部活動に入りたくて入学してきた生徒もいる。部活動の魅力についても、積極的にアピールするべきである。

(委員C)

伊高生は基本的にはみんないい子たちばかりだが、中にはルール・マナーを守れていない生徒を見かけることがあるので、注意・指導をしてほしい。

(委員A)

地元の中学生や保護者は、伊高生の登下校の様子を見ている。生徒募集のためには、学校の広報活動も大切だが、中学生の価値観を重視した取組も必要ではないか。

(委員B)

学力だけで勝負するのではなく、部活動も活性化させるべき。部活動の魅力を発信するために、同窓会も資金面でバックアップしていきたい。

(委員B)

ある高校の校長先生が、生徒に朝食の提供をしたという話を聞いたことがある。生徒が朝食・昼食を取れていないのであれば、弁当の手配等、検討することも必要ではないか。近隣の高校に生徒が逃げないためにも、そういったところまで目配りが必要である。

(委員D)

先ほど授業参観をしたが、生徒たちの一生懸命な雰囲気が伝わってきたし、先生方の熱心な姿も見ることができた。民生委員として、伊集院高校の頑張りを地域にアピールしていきたいと改めて思った。また、現在子供民生委員として、3名の生徒が頑張っている。お年寄りの家を回ってゴミを集めたり、困りごとがないか声かけをしたり、地域の見守りをボランティアでしてくれている。ぜひ褒めてあげてほしい。

(委員D)

2人担任制を導入しているとのことだが、クラスが2つに分かれているのか。

(教務部主任)

2人の先生がクラスの全生徒を見ている。面談や通知票作成などは半分ずつ分担して行っている。どちらかが主でどちらかが副という形ではなく、対等な立場である。さらに、4部主任や学年主任などが、補助担任という形でサブに入っている。生徒や保護者は、話しやすいほうを選んで相談ができる。

(委員D)

生徒たちにとっては実際どうなのか。

(キャリア育成部主任)

導入した年にアンケートを実施したが、高い評価が得られた。

(委員A)

先生方からみて、課題や改善点があるか。

(教務部主任)

教員側のメリットは非常に大きい。担任業務を2人で分担できるので、負担軽減につながっている。課題としては、1人の担任に伝えたことが、もう1人の担任に伝わっていないことがある。担任間での連携・意志の疎通が重要である。

(委員A)

先生方にとっても好評ということか。

(2学年主任)

導入当時学年主任をしていたが、特にトラブルや困ったことはなかった。むしろ、様々な方面から生徒へのアプローチができて良かった。

(委員B)

一部の生徒たちが、日置市の施設を利用して勉強していると聞く。同窓記念会館で平日19時まで自習ができるとのことであるが、夏休み、冷房完備の自習場所を提供できないものか。

(キャリア育成部主任)

土日や長期休業中も学校を開放している。生徒たちには、自分に合った場所で勉強するよう伝えている。